



2011-12 年度 R I のテーマ「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」
R I 会長 カルヤン・パネルジー (Reach Within to Embrace Humanity)
八戸南ロータリークラブ会報
例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル

ガバナー 小山内 康晴 会長 三川 博 幹事 榊 清蔵 会報委員長 岡山 明美
ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org

第 1790 回例会記録 年度末各委員会報告例会
2012 年 6 月 14 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1248

1790 回例会要旨

- ・会長要件 (私の三脚)
- ・幹事報告
- ・各委員会報告 (出席、親睦)
- ・各委員会報告例会 (奉仕プロジェクト、R 財団、会員選考、規程審議・クラブ細則、GG プログラム)

ビジター

小林幹夫様 (八戸 RC)

会長要件 三川会長

いよいよ年度も終わりに近づきました。会長要件として私の専門と皆様にも係わりのあることを話して来ましたが、纏めとして私の三脚について。カメラの三脚ではなく心の問題としての三脚です。一年間会長をやってきました。ロータリーとは何か、南ロータリーはどうあるべきか、私にとってロータリーとは何かを考えた 1 年でした。ロータリーとは、初めはわからなかったのですが、色々模索してきてわかってきました。入会当初は参加するだけで私にとってロータリーはあっても無くても良いと思っていた。副会長、エレクト、会長と役割をやった事で、私にとってロータリーは、なければならぬ存在となつて、ロータリアンとして一人前になってきたと思います。ロータリアンと言うものが自分のアイデンティティを支える柱の一つとなりました。

私の人生は、精神科医として昭和 48 年からスタートしました。その 2 年前 (S46) から歌人として潮音という団体に属して 40 年近くなります。私の内面的軸足は 2 本で、2 つの心の支えを持って長年やってきました。10 年程前にロータリーに入って、もう一つ軸足が出来ました。二脚より三脚は安定性が高いです。内面はそれぞれ違って私の世界を広げてくれたと思います。今後も 3 つの大きな軸足を持って歩んで行きたいと思っています。会長としてこの 1 年で少しは成長したかと思っています。



出席報告 木村出席委員長

正会員 44 名出席免除会員を除く会員 35 名中
本日の例会は免除会員 4 名を含む 32 名出席率 82%
前々回例会：メ・キャップ 1 名出席率 80%

お祝い 代表者のみ登壇

本人誕生：黒田会員、佐々木会員、大澤会員、松田会員
奥様誕生祝：伊藤会員、大澤会員、長嶺会員
結婚記念日：清川会員、山村会員、田口会員、音喜多会員、長嶺会員



幹事報告 榊幹事



* 地区より地区表彰推薦依頼が来ています奉仕活動優秀ロータリアンに平光会員を推薦することに決まりました。

* 例会変更

八戸 RC：7 月 18 日例会が 19 日南分区合同例会に変更

八戸東 RC：7 月 20 日例会が 19 日に変更

* 本日各委員会引継ぎを 1：30～パークホテルで行います。

ニコニコボックス 榊幹事

三川会長：各委員会委員長の皆様本日はよろしくお祈りします。

鈴木会員：6/17 13：00～16：00 八戸市民合唱祭があります。ご来場よろしく！

法官会員:今日は早退させていただきます

本人誕生祝:黒田会員、音喜多会員

奥様誕生祝:伊藤会員

結婚記念日:清川会員

年度末各委員会報告例会

熊谷奉仕プロジェクト委員長:

今更ながら奉仕プロジェクトの仕事は定款細則に『この委員会は、地元地域社会および他国の地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的および職業的プロジェクトを企画し、実施するものである。』とあります。当クラブにおいて一番で報告の筆頭となるものは、グローバル補助金の『震災復興蕪島トイレ』であります。2月20日竣工、八戸市に寄贈しました。大きな難関や紆余曲折がありましたが、ロータリーの奉仕の精神を具現化した例として歴史に刻まれたと思います。

平光ロータリー財団委員長:

2011-12年度ロータリー財団を100%の会員からと担当例会でお願いしましたが、50%の会員からだけです。本日例会後に振込みますので、現在1ドルは80円です。8,000円で100ドルになります。よろしくお祈りします。

橋本会員選考委員長:

本年度委員会メンバーは副委員長が小笠原会員、委員は大澤会員と石橋忠三郎会員、山田会員です。会員の推薦があった方の資料と聞き取りで審査して理事会に上げるのが仕事です。(今年度)私は資料を受け取り、委員一人一人に意見を聞き、慎重に審査し理事会に上げました。三川会長が増強に力を入れ3名の方を推薦され入会がありました。大澤会員推薦の法官さんはご本人の事情で今月新会員となり、計5名、純増4名ということで終了しそうです。会長と大澤先生のお陰です。担当例会の時にお話しましたが、アメリカ方式の会員推薦、承認後に入会のお誘いをするのが基本ですが、慣例で近い方に、推薦したいと了解後、書類を作ります。理事会で決まり、例会で発表後、異議の有無を聞くことになっています。

私の意見ですが、ロータリークラブはパーフェクトになった人が入るのではなく、入ってから多くのことを勉強して行く事がロータリアンとして素晴らしい事だと思いますので、どんどん推薦していただ



きたい。若い人でも角が取れてロータリアンとなっていきますし、先ほど、三川会長の話のように、ロータリーの大役を仰せ付き、ロータリーを熟知し、大きく2本足から3本足となったと伺いました。それがロータリーの素晴らしさです。ロータリーに入って学んで欲しいとの精神にあっている人を推薦して欲しい。それがロータリーの輪を広げる事になります。次年度は会員増強・職業分類になります。最重点が会員増強です。ご協力を賜る事をお願いしてお礼を申し上げます。

黒田規定審議クラブ細則委員長:

今年度三川会長から諮問があり、委員会の見直しと統合です。副委員長の長嶺さん、委員の近藤さん、石橋一男さんと討論しました。WCSはRIのプログラムから無くなりましたが、地区では要望がありますので、国際奉仕に入れても良い。国際奉仕に姉妹クラブを、社会奉仕に環境保全をという件は姉妹クラブも環境保全もクラブとして重要な事で、ロータリアンの奉仕としてもみのがせませんので()として言葉を残す。会長の希望に添う形で返答しました。他の件は近藤会員が先日説明しましたが、理事会で重要な事を決めた後で言うと混乱になりますので、理事会メンバーにパスト会長を加えて、と委員会から提案しました。その件は次年度が受けてくださり感謝しています。

野澤GG委員長:

うれしいことにロータリーの友5月号に蕪島トイレが載っていました。八戸の情報誌「WeLL」にも掲載していただきました。お陰様で利用する方が多いと管理者が言っていました。行政との話し合いで建物の前が砂利ですが、整備する事が決まったそうです。紆余曲折があり、いろいろ言う方もいましたが…。洋服、タキシードにも今の流行があり、陛下の礼服の襟が流行で、時の流もありますが、立場にあった人の考え方もそれぞれであり、叱咤や激励もありました。中国の故事に『受けた恩は石に刻め、かけた情けは水に流せ』とあります。黒田RI理事を輩出した事を誇りにして、ロータリーを今一度考えてやれば楽しいと思います。

